**令和４年度第２回大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター**

**指定管理者評価委員会議事概要**

**開催日時：**令和５年２月２日（木）午後１時30分から午後２時15分

**会　　場：**オンライン会議

**出席委員：（五十音順・敬称略）**

青木　佳史（きづがわ共同法律事務所　弁護士）

川口　晃司（上本町会計事務所　公認会計士）

河﨑　佳子（神戸大学国際人間学部・大学院人間発達環境学研究科　教授）

久保　貞也（摂南大学経営学部　准教授）

黒田　隆之（桃山学院大学社会学部　教授）

**会議の概要**

１　開会

２　議事

1. 令和４年度の評価について

３　閉会

**主な意見等**

**基準１　施設の設置目的及び管理運営方針「評価Ａ」**

（指定管理者自主評価Ａ、施設管理者評価Ａ）

（質疑等：特になし）

**基準２　平等な利用を図るための具体的手法・効果「評価Ａ」**

（指定管理者自主評価Ａ、施設管理者評価Ａ）

（主な質疑等）

〇建物内外のアクセスのしやすさについてはどうか。

　⇒事務局より次のとおり回答

　　・様々な方法で工夫を検討している。

**基準３　利用者に対するサービスの向上を図るための具体的手法・効果「評価Ａ」**

（指定管理者自主評価Ａ、施設管理者評価Ａ）

（主な質疑等）

〇令和４年11月～12月に実施した利用者アンケートは、前回より回答総数が増えているが、何か工夫したことはあるか。

　⇒事務局より次のとおり回答

　　・コロナによる行動制限が一定緩和されたことに加え、今年度は東成区のホームページや広報誌、福祉情報専門誌への広告掲載を行う等、利用者数の増加を図った結果であると考えている。

〇利用者アンケートについて、当事者からの回答が少ないように感じた。

　⇒事務局より、対応を検討していく旨回答

〇利用者アンケートで「ごみ箱の場所が分かりにくい」との意見があったので、工夫が必要であると感じた。

　⇒指定管理者より次のとおり回答

　　・ごみ箱については、大きなものを各フロアのエレベーターホール等目立つ場所に設置しているが、ご意見を踏まえ、設置場所の表示等、あらためて検討する。

〇行動制限がより一層緩和されてきたことで、今後、さらに多くの方が施設を利用することが考えられるので、アンケートやご意見箱の設置だけでなく、積極的にニーズを拾い上げる方法があってもよいと思う。

**基準４　利用者への安全配慮、施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度「評価Ａ」**

（指定管理者自主評価Ａ、施設管理者評価Ａ）

（主な質疑等）

〇スタッフの感染症対策について、大学や一般企業等でも、誰か１人が感染すると周囲も濃厚接触者となって出勤できないケースが多くあったが、センターにおいては、スタッフの数は充足した状態で運営できていたのか。

　⇒事務局より次のとおり回答

　　・センター職員がコロナに感染した場合、まず府へ状況報告いただくことになっている。各団体とも感染者自体は出ているものの、幸いクラスターとなった事案等はなく、指定管理者による日頃の感染症対策の賜物であったと感じている。

**基準５　府施策との整合「評価Ａ」**

（指定管理者自主評価Ａ、施設管理者評価Ａ）

（質疑等：特になし）

**基準６　安定的な運営が可能となる人的能力「評価Ａ」**

（指定管理者自主評価Ａ、施設管理者評価Ａ）

（質疑等：特になし）

**基準７　安定的な運営が可能となる財政的基盤「評価Ａ」**

（指定管理者自主評価Ａ、施設管理者評価Ａ）

（川口委員（公認会計士）による講評）

〇全体として、財務状況に著しく問題が生じているとはいえず、指定管理者の自己評価はきわめて妥当。

（質疑等：特になし）

以上